

Relationship between the prevalence of polycythemia and factors observed in the Mental Health and Lifestyle Survey after the Great East Japan Earthquake
東日本大震災後の心理社会的因子と多血症との関連

坂井 晃

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
福島県立医科大学医学部放射線生命科学講座

著者

坂井晃^{1,2}、中野裕紀^{2,3}、大平哲也^{2,3}、前田正治^{2,4}、岡崎可奈子^{2,3}、高橋敦史^{2,5}、川崎幸彦^{2,6}、佐藤博亮^{2,7}、大津留晶^{2,8}、島袋充生^{2,9}、風間順一郎^{2,10}、橋本重厚²、細矢光亮^{2,6}、安村誠司^{2,11}、矢部博興^{2,12}、大戸斉²、神谷研二²

1 福島県立医科大学医学部放射線生命科学講座、2 放射線医学県民健康管理センター、3 福島県立医科大学医学部疫学講座、4 福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、5 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座、6 福島県立医科大学医学部小児科学講座、7 順天堂大学医学部代謝内分泌内科学講座、8 福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座、9 福島県立医科大学医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座、10 福島県立医科大学医学部腎臓高血圧内科学講座、11 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座、12 福島県立医科大医学部神経精神医学講座

要約

私たちは東日本大震災後（GEJE）、政府の指定した避難地区の住民を対象に健康診査を実施し、避難生活が生活習慣病、多血症の危険因子となることを報告してきました。多血症の原因として、未曾有の災害の経験と避難生活によるストレス多血症（いわゆる相対的多血症）が疑われます。しかしながら、GEJEによるトラウマ症状（PCL-S）やうつ状態（K6）との関係、居住環境や就労状況などの社会経済的な要因との関係は不明です。そこで、私たちは多血症と the Mental Health and Lifestyle Survey（こころの健康度・生活習慣に関する調査）の項目との関係を解析しました。

その結果、多血症と PCL-S や K6 の心的状態との関連は認められませんでした。一方で多変量解析の結果から、多血症は、男性に多い傾向が認められ、65 歳以上の高齢、高学歴、肥満、高血圧症、糖尿病、肝機能障害、喫煙との間に有意な関係が認められました。以上のことから、震災後の多血症は主に生活習慣病の発症に付随する所見と考えられます。

掲載情報

「Medicine」（2020 年）

Sakai A^{1,2}, Nakano H^{2,3}, Ohira T^{2,3}, Maeda M^{2,4}, Okazaki K^{2,3}, Takahashi A^{2,5}, Kawasaki Y^{2,6}, Satoh H^{2,7}, Ohtsuru A^{2,8}, Shimabukuro M^{2,9}, Kazama J^{2,10}, Hashimoto S², Hosoya M^{2,6}, Yasumura S^{2,11}, Yabe H^{2,12}, Ohto H², Kamiya K².

Medicine.2020 Jan; 99(1): e18486.